



不思議を見つけよう

学校長 堀端 和彦

10月13日に土曜授業として、「勝山サイエンスフェスティバル」を行った。一時間目は、講堂で全校児童の前で授業をした。久しぶりでかなり緊張した。

その授業のはじめに先日ノーベル医学生理学賞を受賞した本庶佑京大特別教授の話をした。教授の子どもたちへのメッセージということで、「知りたいと思う心、ふしぎだなという気持ちを大切にしてほしい。」を紹介した。まさに今回このフェスティバルを企画した思いそのものだったので、使わせてもらった。

「知りたいと思う心」「不思議だなという気持ち」はなにも理科をめざすということではない。どんな事であっても、「なぜ?」「どうして?」と思う心が出発点になって、子どもは放っておいても、のめり込んでいく。そんな好奇心の力をどう上手に育てていくかが重要であると思っている。学力の根本的なところに好奇心がある。「子どもは40000回質問する」という本がある。帯に曰く、「好奇心格差が経済格差を生む!」そうだ。一部を見てみよう。

『現在、労働市場は世界的に拡大し、かつては人間にしかできなかった仕事を高度な機械がこなすようになっており、仕事の獲得競争は熾烈さを増している。一方では、インターネットはかつて教育を受けられなかった人々にまで学習の機会を広げている。これはつまり、好奇心旺盛な人々はその報酬を受け、そうでない人々はその罰を受ける傾向が強まることを意味する。』

『子ども時代の好奇心は子どもと大人が協力して育むものだ。放っておけば台無しになってしまう。知的好奇心とは、その妨げになるものを取り除くだけで花開く「自然な」心理状態ではなく、意識的に取り組むべき（子どもと大人の）共同プロジェクトなのだ。デジタル機器や自分専用の道具を与えただけでは、子どもは正しい情報を得ることも、集中力を保つこともできず、やる気を失ってしまう。』

是非とも子どもの好奇心をうまく育てていきたい。



<子どもの好奇心を育てる3つのポイント>

1. 子どもの指さしや喃語を見逃さない。(赤ちゃん向け)
2. 子どものチャレンジを見守る。(つい、口や手を出したくなるけど…)
3. 図鑑を開こう。(知らない世界が広がっている…)

でも、好奇心だけでは足りないのです。気粉れであちこちつまみ食いしても、結果は得られない。もう一つ重要なものがあります。それは「やり抜く力」。最近ではGRITとも呼ばれている。これについては、また別の機会に…。

11月 主な行事予定

日	曜	行 事 等
1	木	交流給食、記名の日
5	月	体重測定(高)、
6	火	体重測定(中) 赤い羽根募金(～8日)
7	水	体重測定(低)
8	木	作品展準備、ｽﾎｰﾂ交歓会(6年)
9	金	作品展見学・公開
11	日	日曜参観・作品展公開
12	月	代 休、口座振替日(給食費)
14	水	6年社会見学(歴史博物館・ﾋｰｽ大阪) 5年社会見学(ﾊﾟﾅﾈｯｸ)、3年ﾐﾚ教室
15	木	1年秋見つけ(御勝山公園)
16	金	音楽鑑賞会、PTA社会見学
19	月	3年栄養指導
20	火	5・6年LINE出前授業
21	水	勝山フェスタ準備
22	木	勝山フェスタ
26	月	4年栄養指導
27	火	6年栄養指導、児童会ｽﾎｰﾂ大会
28	水	交通安全教室

30	金	ｽﾎｰﾂ大会予備日
----	---	-----------

【12月 主な行事予定】

- ・ 17(月) 18(火) 19(水) 20(木)
学期末個人懇談会
- ・ 25(火) 2学期終業式

☆交流給食☆

11月1日(木)に交流給食を行います。1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生、それぞれの教室に分かれて食べます。異学年との交流を深めることで豊かな人間関係を育てていきたいと思います。



勝山フェスタ

11月22日(木)に勝山フェスタを行います。歴史があり、勝山小学校の伝統的な行事の一つです。地域の方も、子ども達とのふれあいを楽しみにしてくださっています。



スポーツ交歓会

11月8(木)、6年生が長居陸上競技場でスポーツ交歓会に参加します。今年で7年目となります。生野区7校の子ども達と交流を深めます。

本格的な陸上競技場で100m走、リレーやサッカー、ドッジボールを行うことは、子

ども達にとって貴重な経験となっています。